

## 学びのイノベーション事業 授業実践報告 様式

学校名：城東中学校

授業の概要	
授業日時・学年・教科・単元名等	
授業日時：平成24年 6月13日 学年： 1年 教科：国語 単元名：ダイコンは大きな根？ ICT支援員によるサポート <input type="checkbox"/> 授業中 <input checked="" type="checkbox"/> 事前	
単元・題材の目標	
「ダイコンは大きな根？」 1 大根についての説明文を読み、新しい知識を得、それに基づいて自分の考えを広げようとする態度を養う。 2 段落の役割に着目して内容を的確に読み取ることができる。 3 文章中の語句の意味を的確に捉えることができる。	
単元全体の流れ	
中学校に入学して初めて学習する説明文である。そのため、導入部分に文部科学省作成のデジタル教科書を活用し、既知の内容を確認するとともに、楽しく学べるような工夫を行い、興味を持たせることとする。 その後は、大根についての説明文の読み取りを中心に、語句の意味や漢字の読みに着目し、班別に学習させることとする。	
本時の中心となる授業形態	
<input type="checkbox"/> 一斉学習 <input type="checkbox"/> 個別学習 <input checked="" type="checkbox"/> 協働学習	
本時の目標（評価の観点）	
1 大根について説明した文章を読み、その説明文で使用されている言葉の意味や内容を的確に捉える。 2 段落の役割に着目して文章を読めるようになる。	
情報通信技術の活用	
活用した場面	
<input checked="" type="checkbox"/> 導入 <input type="checkbox"/> 展開 <input type="checkbox"/> まとめ <input type="checkbox"/> その他（ ）	
活用した者	
<input checked="" type="checkbox"/> 教員 <input type="checkbox"/> 生徒	
活用する目的	
<input type="checkbox"/> 課題の提示 <input checked="" type="checkbox"/> 動機付け <input checked="" type="checkbox"/> 興味・関心の創出 <input type="checkbox"/> 目的や目当ての明確化 <input type="checkbox"/> 教員の説明 <input type="checkbox"/> 生徒による説明 <input type="checkbox"/> 繰り返しによる定着 <input type="checkbox"/> 典型例の提示 <input type="checkbox"/> 創作活動 <input type="checkbox"/> 失敗例の振り返り <input type="checkbox"/> 体験の想起 <input type="checkbox"/> 体験の代行 <input type="checkbox"/> 比較 <input type="checkbox"/> 振り返り <input type="checkbox"/> 生徒同士の教え合い <input type="checkbox"/> その他（ ）	
活用したコンテンツ	
デジタル教科書（文部科学省作成）	
活用した機器	
<input checked="" type="checkbox"/> IWB <input checked="" type="checkbox"/> タブレットPC <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input type="checkbox"/> その他（ ）	

## 1. 本時の展開

学習の流れと子どもの活動	指導・支援のポイント	使用した機器やコンテンツ
<p>「ダイコンは大きな根？」という本単元の題名の問いについて、自らの生活体験をふまえながら考える。</p> <p>ダイコンも含めていろいろな野菜について、どこを食べるかをゲーム的に考える。</p> <p>全文を読み、おおよその内容を把握する。</p> <p>何について書かれた文章であるか理解する。</p> <p>難しい用語について説明を聞く。</p> <p>初めて知った内容をノートにまとめる。そしてそれをもとに次時は、班別に発表することをわかる。</p>	<p>ダイコン以外にゴボウ、キャベツ、アスパラガスなどの野菜について、そのどこを我々は食べているのかを考えさせ、発表させる。</p> <p>(デジタル教科書の中に14種類の野菜について、どこを食べるのかを考えさせるゲーム的な課題があるので、それを活用した。)</p> <p>生徒に黙読させた上で、教師の範読を行う。</p> <p>「双葉」「胚軸」「根」などについて、デジタル教科書を活用して理解させる。</p> <p>ノートを回収し、次時まで点検しておく。</p>	<p>デジタル教科書</p> <p>IWB</p> <p>PC</p>

## &lt;協働学習の実施状況&gt;

- 生徒が相互に教え合う場面があった     数名が一緒に学び合う場面があった
- 数名が協力したり助け合ったりする場面があった     数名が話し合う場面があった
- 一人が発表したことについて学級全体で考える場面があった
- 同じ問題について、学級全体で話し合う場面があった
- ネットワークを使って遠隔地と結んで学ぶ場面があった

## 2. 情報通信技術の活用のねらいと効果

### (1) 活用のねらい

今回のデジタル教科書の活用は、授業の導入部における生徒への興味関心の喚起であり、それは十分に効果を発揮したと言える。

### (2) 活用により期待される効果

(1)に書いたように、目指した生徒の意欲の喚起は期待した以上のものだった。生徒はゲーム感覚で課題を行い、時には他の生徒とも意見を交換しながら答えを導いていた。

## 3. 実践上の課題

導入部ではなく、展開部においても活用していきたい。

※本報告は、2頁を超えて作成しても構わない。

※本報告とあわせて、授業の動画や写真を提出する際は、Webでの公開など広く使用されることも考えられることから、保護者の了解を得るなど必要な対応を行うこと。